



準々決勝進出8校の成績

	試合数	得点	失点	打数	安打	打			打率	犠打	盗塁	失策
						二塁打	三塁打	本塁打				
八学光星	3	21	1	81	31	8	2	1	.383	7	10	0
弘前東	3	27	1	73	27	3	1	0	.370	9	4	1
青森商	3	17	8	96	35	5	3	0	.365	10	0	4
八戸西	3	21	1	82	27	5	3	1	.329	7	4	4
聖愛	3	26	6	101	43	10	1	0	.426	8	10	3
弘前工	3	19	3	88	33	4	1	1	.375	11	7	0
大湊	3	17	6	97	32	3	2	0	.330	9	4	3
八工大	3	23	5	93	33	3	4	2	.355	7	5	2

第98回

全国高校野球
青森大会

きょうの試合

(左のチームが一塁側)
◇青森市営
▷準々決勝
八学光星-弘前東 (10・0)
青森商-八戸西 (13・0)

第98回全国高校野球選手権青森大会は17、18の両日、青森市営球場で準々決勝が行われる。17日は八学光星と弘前東、青森商と八戸西が対戦。18日は聖愛と弘前工、大湊と八工大が戦い、ベスト4が出そろった。準々決勝の4試合を展望する。(本紙取材班)

8強きょうから激突

光星 伊藤、花岡に長打力 弘前東 全戦コールド勝ち

ポイントは、強打の八学光星打線を弘前東の投手陣がどう抑えるか。八学光星は打率5割超の伊藤や二塁打5本の花岡らを中心に長打力がある。主戦櫻井は4回戦で7回無失点。チーム全体で失策ゼロと堅守も光る。弘前東は全試合コールド勝ち。4投手が登板し、主戦織田は12回を無四球無失点と安定感がある。打線は長尾や田中ら主軸が好調で、8校中最多の27点を挙げている。

青森商 接戦制す粘り強さ 八戸西 投打とも実力十分

公立校同士の対決。八戸西の主戦竹本を、青森商打線が攻略できるかどうかポイントになる。青森商は3、4回戦とも1点差の接戦を制しており、粘り強さがある。打線は切れ目がなく、3回戦でサヨナラ打を放った小野は、特に勝負強い。八戸西は初戦、六回までに10安打でコールド勝ち。3回戦は少ない好機を得点に結びつけた。4回戦は主戦竹本が零封と、投打にレベルが高い。

聖愛 チーム打率4割超 弘前工 失策ゼロ、光る堅守

猛打の聖愛に堅守の弘前工が挑む。ロースコアの展開に持ち込めば、弘前工に勝機がある。聖愛はチーム打率が8校中首位の4割2分6厘。3試合とも2桁安打を放っており、計10盗塁と機動力もある。打撃は1番小西が当たっている。弘前工は3試合無失策。主戦石村は初戦、シード校の五所川原を相手に3安打で完封した。4回戦では3安打を放ち、投打に活躍している。

大湊 好機逃さず集中打 工大 好調前田2本塁打

好投手ぞろい八工大を一を、ここぞでの集中打が光る大湊が打ち崩せるかが鍵を握る。大湊は4回戦で青森山田を破り勢いに乗る。主戦小谷は15回1/3をわずか1失点。これまでの3戦と同様に要所を抑え、好機で量み掛けたい。八工大は140+超えの直球を放る種市、古屋敷に注目。どこからでも得点できる打線の中でも前田は今大会2本塁打と好調。攻守に安定感がある。

公共交通利用を
主催者呼びかけ
17日から全国高校野球選手権青森大会の準々決勝以降が行われる青森市営球場(合浦公園内)に、多くの来場者が見込まれる。青森市交通部によると、青森駅の3番乗り場から出るバスはすべて合浦公園前で降りられる。公共交通機関はバスなどの公共交通機関で会場へ行く呼びかけられている。

東部営業所行き、県立中央病院前行き、浅田温泉行きなど(こ)乗り、合浦公園前で下車する。料金は220円。